

人材
育成

高校生に講演「アジアの発展に役立つ原子力を考える」文部科学省主催講演会

1月18日に文部科学省の主催（共催：敦賀気比高校）、高校生に原子力技術の活用などの状況を知ってもらうことを目的に、敦賀短期大学で開催された講演会には聴講者60名を含め143名の参加者があり、下記の内容で講演が行われました。

なお、この講演会に先立ち昨年12月14日に敦賀気比高校での学習会で出された質問についても各講師から回答がなされました。質問の内容は「なぜ福井県で拠点化計画が行われるのか」、「原子力の向上のために私たちは何ができるのか」などといったものです。

原子力の環境面のメリットである二酸化炭素排出量について、福井県の13基の原子力発電所は、石油火力に変更した場合、国全体の排出量の4%に相当し、排出量削減に大きな寄与をしていることも生徒達に理解を深めてもらいました。



敦賀短期大学講堂で講演



生徒の質問に回答する講師：左から来馬所長、町氏、辻井氏、中川氏

講演内容

- ・放射線を利用した「がん」の発見と治療
- ・放射線による農作物・食品の品種改良
- ・福井県のエネルギー研究開発拠点化計画が目指すもの
- ・生活に役立つ原子力利用とFNCA

辻井博彦(放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター長)
中川 仁(農業生物資源研究所放射線育種場長)
来馬克美(エネルギー研究開発拠点化推進組織所長)
町 末男(FNCA 日本コーディネータ)

人材
育成

三菱重工業神戸造船所 視察研修 (原子力関連業務従事者研修)

一般研修の机上における知識ばかりでなく、実際に工場を見学して理解をしてもらおうと1月31日に18名で三菱重工の神戸造船所での視察研修を行いました。

本工場と二見工場からなる神戸造船所は、明治38年以来船舶から原動機、発電プラントなどを製造して我が国の工業化の一翼を担ってきた事業所です。

18名の参加者は、蒸気発生機や原子炉容器など多くの重要な製品が製作されている状況を視察し、プレス技術や溶接技術などについて現場の担当者に熱心に質問を投げかけていました。



工業化の博物館とも言えるようなゲストハウス(上)
工場全体の説明や意見交換の状況(下)

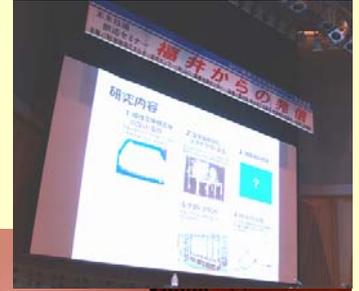
未来技術創造セミナー「福井からの発信」

このセミナーは技術シーズや製品開発の経験などを紹介し、企業の開発活動や産官学連携を推進する目的で毎年開催しているものです。

今年も1月24日にエネ研で開催し、約160名の参加者がありました。

まず、基調講演では須郷高信(株)環境浄化研究所代表取締役社長の「放射線利用からベンチャー企業を立ち上げて」、また村岡貢治(株)秀峰代表取締役社長の「素人だから出来る最先端印刷技術の研究開発」というテーマで、ベンチャー企業として経験したリスクや波乱万丈の浮き沈みを経ての成功談などを交えながらそれぞれの技術の工夫についてわかりやすく紹介されました。

次のパネルディスカッションでは、堀照夫福井大学副学長のコーディネートのもと、「ベンチャー企業の経営戦略」と題して、国の知的財産所有制度や大学との連携など有意義なトークが行われました。優れた放射線利用商品などについてもっと知ってもらうことにより、放射線や原子力についての理解が進むのではないかと信念などが語られました。



左からコーディネートの堀氏、パネリストの須郷氏、村岡氏



消臭関係など自ら開発した商品を紹介する須郷氏

(財)若狭湾エネルギー研究センター 第9回研究報告会

1月22日に福井大学文京キャンパスで開催しました。

冒頭の挨拶では、旭理事長からエネ研の重点的な取り組みの概要とより実用的な成果への期待についての話があり、引き続き5テーマの成果報告が行われました。

このうち、「太陽炉による炭酸ガスの消滅」については、新聞などのマスコミにも大きく取り上げられ、また「気泡駆動型循環式ヒートパイプの熱輸送特性」など、企業などからの問い合わせが数多く寄せられているものもあります。



福井大学総合研究棟 I 13会議室

原子力産業セミナー 2008

(社)日本原子力産業協会では1月26日に昨年に続き2回目となる原子力産業セミナーを東京・新宿エルタワーで開催しました。本セミナーは原子力産業界の理解向上と企業の新人採用を目的としたもので、32社の原子力に関わる企業や機関と当日参加した約240名の学生による活発な情報交換が行われました。

日頃から原子力産業に関する情報に乏しいという学生側のニーズに応えるもので、優秀な人材確保、技術・技能の伝承などに向けての有意義なセミナーとなったと評されています。



(上)エネ研のブース



(上)多くの参加者
(右)メディアの取材・報道



今後の主な予定

○元請企業と県内企業の情報交換会

○科学機器研修 詳細はホームページをご覧ください。TEMは締め切りました。EPMA,GC-MSは募集中。参加無料